

『熊谷の子どもたちは、これができます!』

### 4つの実践 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

### 3減運動 プレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

# 別府小だより

令和7年5月22日(木)

No. 3

## 学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成  
**知**進んで学習する子      **徳**他人を思いやる子  
**体**体力・活力のある子



## あいさつと魔法の言葉

5月13日(火)に本年度初めての全校朝会を行いました。校長として話すことのねらいは、「お互い気持ちよくすごすためにどうすればよいかを考える」ということです。スクリーンを用いて「なぜあいさつをするのか」と問いました。ある子が答えてくれました「気持ちがいいからです。」校長が問いました。「面倒くさいなあと思う人はいませんか」と。大部分の子が首をかしげていました。私は、あいさつは人を気にかける大事な行為であると思っています。根気強く「心を届けるあいさつ」を伝えていこうと思います。

魔法の言葉は「ありがとう」と「ごめんね」です。「心から」を付けて、「心からありがとう、ごめんねを言える子になろうね。」ということで話を終えました。例えば、鬼ごっこをしていて鬼が捕まえる時に追いかけている相手の背中を押してしまうことがあります。押された方は怒っていますが、押した鬼の方は何も言わずにそのまま鬼ごっこを続けています。このままだと押された方は気持ちが落ち着きません。このことが解決できないと気持ち悪い関係になり、後にいじめが起こったりします。押してしまった方はわざとではないですが、「ごめんね、ケガをさせるつもりはなかったんだよ」と心から謝れば済むことなのです。

「学校は社会の縮図」と言われますが、大人になっても「ありがとう」、「ごめんなさい」の大切さは変わりません。全校朝会でも紹介しましたが、上記にある熊谷市の「4つの実践、3減運動」の中にも「ありがとう、ごめんなさいと言う」が入っています。市は「大人が手本となって」と伝えていきます。ぜひ、我々大人が率先して実践していきましょう。きっと子供たちにも伝わるはずです。何事も「根気強く」が大切ですね。

別府小のみなさん、  
あいさつはなぜするのですか？



別府小のみなさん、  
学校は何をしたらいいですか？



文責 校長 深澤 信也

## 離任式(4月25日)

この春、本校から異動した先生方が本校に3週間ぶりに訪れ、子供たちと別れを惜しみました。異動した先生方も、ほんの少し合っていない間に子供たちが成長したと感慨深げでした。当日は、学年ごとに様々な準備をして、異動した先生方を迎え、これまでの感謝を十分に伝えていました。異動した先生方も子供たちのおもてなしに感激し、別れを惜しんでいました。



## 避難・引き渡し訓練(5月19日)



地震を想定した避難訓練に続き、災害時の引き渡し訓練を実施しました。ご多用の中、ご協力くださり、誠にありがとうございました。「自分の身は自分で守る」ことができるよう、学校でも指導してまいります。ぜひこの機会にお子さんと避難行動の仕方を確認願います。



## 6月の生活目標

そうじをしっかりとしよう(オルゴールの音が聞こえるしずかさで)